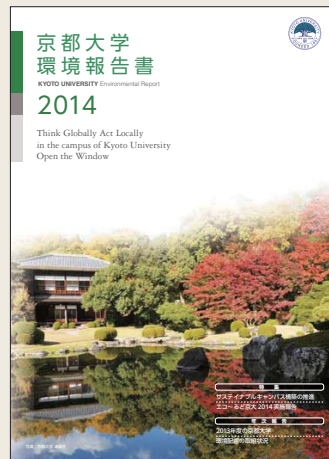


京都大学は、全員参加型で環境負荷を低減した持続可能なキャンパスの実現を目指しています

特集として

- ・サステイナブルキャンパス構築の推進
- ・エコ〜ど京大2014実施報告を掲載しています。

全員参加型で環境負荷を低減した持続可能なキャンパスの実現を目指す強化イベントとして「エコ〜ど京大2014」を開催しました。環境月間である6月2日〜30日の1カ月間、吉田キャンパスを中心に、学生・教職員が協働し、様々な企画を展開しました。



なお一層の節電に御協力をお願いいたします

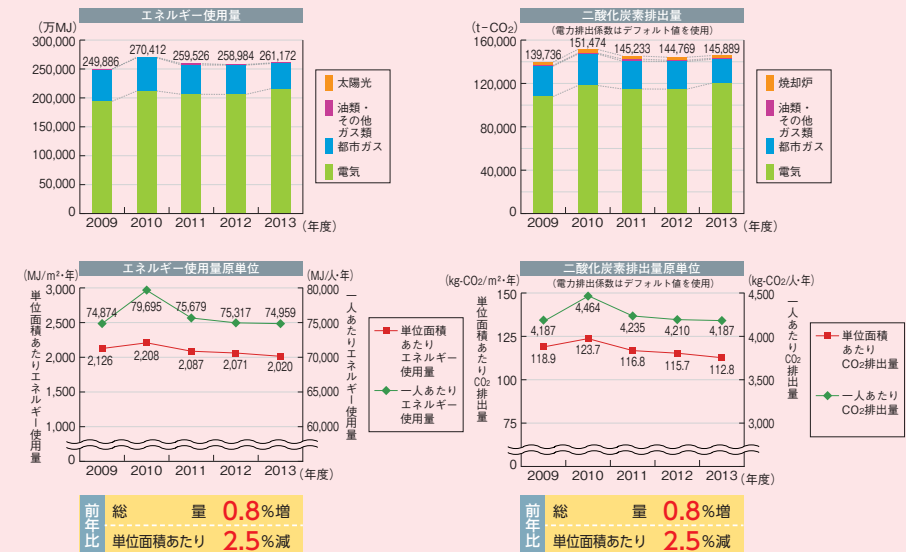
電気料金が2012年度の25億円から、2013年度は32億円へと7億円増加しました。2014年度にはさらに数億円の増加が見込まれます。これまで、教育・研究活動の支障にならない範囲内で、各部局において様々な節電の取り組みを実施していただいているところではありますが、今後もなお一層の節電対策について全構成員のご協力をお願いします。実験系の研究室では、機器類の使用法ならびに機器の設置されている部屋の空調設備の再検討ならびに使用法の見直しをご検討いただければ幸いです。



環境安全保健機構長
大島 幸一郎

京都大学の現状

京都大学では、単位面積あたりのエネルギー消費量・CO₂排出量を、毎年2%削減することを目標にしています。



ひとりひとりの取組が重要です！ 見直してください、3つのポイント

1. 退室時、休み時間は、照明・機器のスイッチOFFになっていますか？エコタップを活用していますか？
2. 冷暖房時のエアコン設定温度を守っていますか？
3. パソコンは、省エネモードに設定していますか？

